

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供



神奈川県青少年指導員だより

第 51 号

- 2014 年 9 月 -

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 石井一也
連絡先 045-210-1111(代)
神奈川県青少年課内
印刷 文一堂印刷株式会社
045-231-1931

第 24 期 理事あいさつ

24 期に向けて

県協議会 会長 石井 一也



今年度、新たに神奈川県青少年指導員連絡協議会会長に就任致しました、横浜市青少年指導員連絡協議会の石井でございます。紙面をお借り致しましてご挨拶をさせていただきます。

当協議会は、昭和 43 年に発足致し、県知事、市町村長等の委嘱を受け青少年の健全育成への取組や、指導員相互の連絡調整を目的とし、県内で 5200 名余りが活動を続けております。発足当時は戦後の荒廃期より高度経済成長期へのまさに転換期であり青少年の非行問題（暴走族・シンナー遊び・対教師への暴力等）が大きく取り上げられる時でした。オイルショック、バブル期と大きなうねりを経て現在に至っておりますが、少子化・核家族化・地域の繋がりの希薄化・インターネットや携帯電話（ツイッター・ライン等）の急激な発展により青少年を取り巻く環境は激変しております。戦後のベビーブーム、いわゆる団塊の世代に象徴される競争社会において、合理化や利便性を推し進めるあまり、私たちの「こころ」までがデジタル化に向かってはいないでしょうか。依然として虐待、いじめ、自殺等によりかけがえのない尊い命が奪われることが多々ございます。「命を感じるセンスを実体験を通して養い、命とは何よりも代え難いものなんだ。」という教育を幼いうちから実践していくことが必要だと思います。今こそ、デジタルからアナログへと舵をきり、将来を担う青少年が、夢や希望を持って成長していけるよう「地域力の更なる充実、地域ぐるみの青少年育成」を目指し、青少年関係友誼団体と力を合わせ指導員活動を推し進めて参ります。

青少年の健全育成にとりくんだ半世紀

県協議会 副会長 石橋 博



川崎市青少年指導員制度が発足して今年で 50 周年になります。

社会環境の移り変わりとともに青少年を取り巻く環境が著しく変化し、青少年問題も深刻な状況になっており、これからの

青少年活動には、様々な課題への対応が求められています。

私たちが日頃行っているパトロール活動などは結果が出にくくても地道に活動を続け、真正面から青少年問題に取り組んでいく姿勢こそが大切だと考えています。

青少年指導員制度発足 50 周年という大きなふしめの年に当たり、青少年指導員自らが決意を新たにするとともに、引き続き地域活動推進の核となり、今後とも青少年の育成活動を推進するために ご協力お願いいたします。

第 48 回「神奈川県青少年指導員大会」
開催にあたって!!

県協議会 副会長 市丸 克己



26・27 年度、神奈川県青少年指導員連絡協議会副会長の相模原選出市丸です。会長の足を引っ張らないように 2 年間頑張りますので よろしくお願ひいたします。

相模原の今年度目標の一つは、27 年度開催予定の「第 48 回

神奈川県青少年指導員大会」を成功させることです。今年の 9 月に実行委員会を立ち上げたところです。実行委員は全 27 の地区長と本部役員合わせ 35 名で、多いと思われるかもしれませんが、総勢 248 名の会員一人一人に周知徹底するには足りないくらいです。英知を出し合い会員が一丸となり相模原らしい大会にしたいと思います。

簡単ではないと思いますが、事務局、県連協等のお力を借りながら、「行ってよかった! 参加して楽しかった! 相模原らしいね!」という参加者の声が聞けるように日々の活動と共に頑張りますので、より多くの会員の皆さまの積極的な参加をお待ちしております。